

令和3年度 外国語学部オープンキャンパス(オンライン企画)  
ZOOM模擬授業

開催日時		タイトル(テーマ)	模擬授業内容	定員	担当教員
8月10日 (火)	14:00~15:00	「世界の言語を観察してみよう ～記述言語学へのお誘い～」	言語は謎や驚きであふれています。しかし、世界では今言語の多様性が急速に失われつつあります。ある言語が何の記録も残さずにこの世から消えれば、その話者が築き上げてきた社会の慣習や世界観など、貴重な無形文化財も失われてしまいます。この授業では世界の言語を観察し、記述することの楽しさについてお話します。	70	大塚 行誠 講師 (ビルマ語専攻)
8月11日 (水)	10:00~11:00	なぜ外国語で小説を読むのか？ —世界の文学と「私たち」	物語を読むのは楽しいもの。でも、外国語の文章を、辞書を片手に読み進めるのはひと苦労です。楽しいだけでは済まず、苦しいこともあるかもしれません。それなのに、わざわざ外国語で読むことにはどんな意味があるのでしょうか？ この授業では、「外国語と文学」という観点から、ヨーロッパを中心に世界の文学を紹介しながら、ことばと文学の、一見すると当たり前の関係を問い直してみます。そのうえで、実践編として、フランス語で書かれた小説と一緒に読んでみましょう。といっても、フランス語の知識は必要ありません。外国語で読むことの楽しさをお伝えできればと思っています。	300	篠原 学 助教 (フランス語専攻)
	14:00~15:00	国際社会のしくみを知る —(外国学)への扉	大阪大学の外国語学部は、言葉だけを学ぶ場所ではありません。世界で今なにが起きているのか、そしてその背景にはどんな歴史や構造があるのかを探求する、(外国学(Foreign Studies))という学問の場でもあるのです。 この講義では昨今の海外情勢を手がかりに、私の専門である歴史をひも解きながら、約400年変わることのない国際社会のしくみについてお話します。刻々と変化する世界の奥に何があるのかを、ぜひ一緒に考えてみませんか。	300	藤山 一樹 講師 (英語専攻)
8月12日 (火)	10:00~11:00	「ポップなイスラーム —ファッション、映画、音楽」	日本と密接な関係を持つ東南アジアには現在、約3億人のムスリムが暮らしています。そこでは、特に近年若者を中心に急激にイスラーム化が進行し、若者が牽引する新しいポップなイスラーム文化を全世界に向けて発信しています。日本から最も近いイスラーム圏の事例を通して、宗教と地域性についてお話します。	300	菅原 由美 准教授 (インドネシア専攻)
	14:00~15:00	外国にルーツを持つ子どもたち	日本の小・中・高では外国にルーツを持つ子どもたちがたくさん学んでいます。この授業では、その人たちがどのようなことに困っているのか、その人たちにに対して学校や地域でどのような教育や支援が行われているのかをお話します。みなさんの身近なところで暮らしている「外国」の人たちのことを考えてみませんか？	300	矢元 貴美 講師 (フィリピン語専攻) 近藤 美佳 助教 (ベトナム語専攻)
8月13日 (金)	10:00~11:00	世界の言語を探検しよう！	世界には数千の言語が存在すると言われていますが、互いに何もかもが違うわけではありません。人間のことばが必ず持つ特徴もあれば、特定のグループ内で共通して見られる特徴もあります。この授業では、具体的にいくつかのことばの特徴を外観し、さまざまな観点から、世界のことばのグループ分けに挑戦します。	300	江口 清子 助教 (ハンガリー語専攻)
	14:00~15:00	『蘭学事始』から外国学事始へ —杉田玄白に学ぶ外国学の意義—	日本に生きる私たちにとって「外国語を学びながら外国を知る」とはどのような意義があるのでしょうか。この講義では、江戸時代に「鎖国」の壁に阻まれつつもヨーロッパで育まれた学問を成就しようと奮闘した杉田玄白の言葉を振り返りながら、日本人にとっての外国学の意義について、これから大学の扉を叩こうとする皆さんと一緒に考えてみましょう。	300	古谷 大輔 教授 (スウェーデン語専攻)

※ 各企画、開始1時間前まで予約可能です。(定員に達した時点で申し込みを締め切ります。)

※ 企画内容は変更となる場合があります。